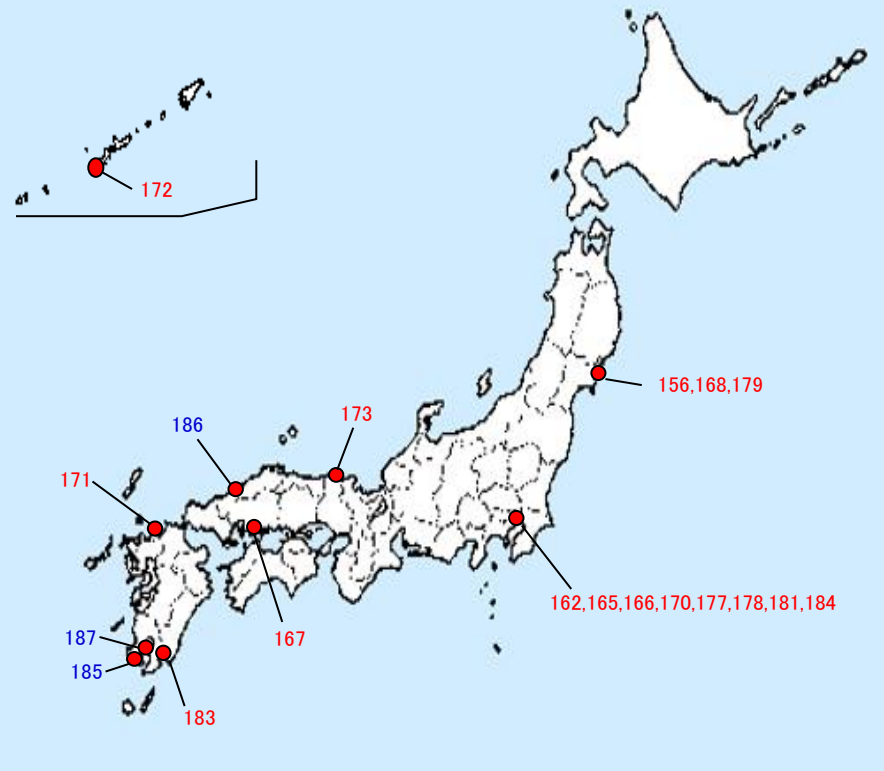


漁業構造改革プロジェクト進捗状況 —実証事業中・実証予定の計画— (令和5年3月1日現在)



- 156 遠洋まぐろ延縄(気仙沼⑥): 省エネ・労働環境改善型漁船の導入、航海計画の最適化等<R2.3~R5.2 改革型>
- 162 海外まき網(海まき③): 共通船型・仕様による建造コスト等の削減、搭載ヘリコプターを用いた素群れ操業等<R1.11~ 共通仕様>
- 165 遠洋まぐろ延縄: 共通船型・仕様による建造コスト等の削減、高速ブロードバンド衛星通信システムの導入等<R1.9~ 共通仕様>
- 166 全国さんま棒受網: 共通船型・仕様による建造コスト等の削減、公海操業に対応した冷凍・冷蔵能力の向上等<R1.8~ 共通仕様>
- 167 広島県ニジマス養殖: 海面と内水面が連携した海面2回出し生産による新たな養殖システムの構築等<H31.1~R5.12 改革型>
- 168 近海まぐろ延縄(気仙沼): 共通船型・仕様による建造コスト等の削減、複数隻の連携強化による操業の効率化等<R1.12~ 共通仕様>
- 170 全国遠洋まぐろ(遠洋まぐろ延縄): 共通船型・仕様による建造コスト等の削減、漁獲物の取込・冷凍作業の省力化等<R2.7~共通仕様>
- 171 遠旋組合⑩(大中まき): 共通船型・仕様による建造コスト等の削減、松浦地区でのバリューチェーン全体の生産性向上等<R2.4~共通仕様>
- 172 糸満(ソデイカ旗流し等): 改革型漁船の導入、急速冷凍装置の導入による操業の効率化、未利用・低利用資源の活用等<R2.1~R4.12 改革型>
- 173 兵庫県但馬(沖底): 共通船型・仕様による建造コスト等の削減、船上凍結による漁獲物の高付加価値化等<R2.9~共通仕様>
- 177 北まき(大中まき): 共通船型・仕様による建造コスト等の削減、5隻の分散水揚、冷海水設備導入による鮮度保持の高度化等< R3.6~ 共通仕様>
- 178 遠洋まぐろ延縄(ピンナガ漁場): 共通船型・仕様による建造コスト等の削減、省力化機器の導入等<R3.6~ 共通仕様>
- 179 全国遠洋まぐろ(気仙沼): 完全自動スナップ掛け機の導入等による作業負担軽減、省エネ改革型漁船導入等< R3.4~R6.3 改革型>
- 181 遠洋まぐろ延縄(ミナミマグロ漁場): 共通船型・仕様による建造コスト等削減、海鳥混獲回避措置、作業安全向上設備の導入等<R3.7~共通仕様>
- 183 串間大規模沖合養殖(ブリ養殖): 沖合への大型生簀導入による生産尾数増加(主に輸出用)と作業効率化、労力削減等<R3.1~ R5.12 先端的養殖型>
- 184 海外まき網(海まき④): 共通船型・仕様による建造コストの削減、居住・労働環境改善システム導入、HACCP管理への取組等<R4.8~共通仕様>
- 185 枕崎(中まき): 船団縮小(6→5隻、25→21人)、ペクトラン繊維漁網、フィッシュポンプ、ウインチ音声認識システム、養殖種苗販売等<改革型>
- 186 浜田②(沖底2そうびき): 省エネ船型、居住・労働環境・安全性改善の大型化(75→121トン)、鮮度保持装置等<改革型>
- 187 東桜島(ブリ類養殖): 浮沈式銅金網生簀の導入によるハダムシ対策及び薬浴等の養殖作業の軽労化等<R5.1~R7.12先端的養殖型>

認定改革計画 187件: 実証事業中 17件、実証予定 2件、
実証事業終了168件(がんばる漁業への移行
11件含む)

(注1) 赤数字:実証中の計画、青数字:実証予定の計画 (注2) 計画名は、地域プロジェクト名及び漁業種類の一部を省略して記載 (注3) 計画概要及び地図はがんばる漁業へ移行した11件を除く。

漁業構造改革プロジェクト進捗状況 ―実証事業を終了した計画① (令和5年3月1日現在)

- 1 八戸(大中まき): 船団縮小(4隻→2隻)〈H20.4～H23.3 改革型〉
- 2 北海道機船(室蘭)(沖底): 省コスト共通船型、操業協同化〈H20.9～H21.8・H21.9～H24.8 改革型〉
- 3 大津(大中まき): 船団縮小(4隻→3隻)〈H20.10～H23.9 改革型〉
- 4 賀露(沖底): 省エネ船型導入〈H20.9～H23.8 改革型〉
- 5 鮭子(沖底): 小型化(74トン→19トン)、協業化〈H20.6～H23.5 改革型〉
- 6 遠旋組合①(大中まき): 船団縮小(5隻→4隻)〈H21.1～H24.1 改革型〉
- 7 石巻(大中まき): 単船化、省エネ省コスト化〈H21.8～H24.7 改革型〉
- 8 波崎(大中まき): 船団縮小(4隻→2隻)〈H21.8～H24.7 改革型〉[自己負担等により実施]
- 9 北海道機船(小樽)(沖底): 生産体制の合理化〈H22.2～H25.1 改革型〉
- 10 香住(べにずわいがに): 常設活魚艙導入〈H20.9～H23.8 改革型〉
- 11 境港(べにずわいがに): 省エネ省コスト、高鮮度保持〈H21.9～H24.8 改革型〉
- 12 紀伊水道(中まき): 船団縮小(9隻→7隻)〈H21.7～H23.6 マイル〉
- 13 静岡(大中まき): 船団縮小(6隻→5隻)〈H23.1～H25.1 改革型〉
- 15 塩釜(遠洋底びき): 新規漁場(インドネシア)開発〈H21.8～H22.2 マイル〉[中止]
- 16 山川(海まき): 海外漁場(バブアニューギニア)の確保〈H21.11～H23.11 マイル〉
- 17 柴山(沖底): 耐候性漁船、高品質水揚げ〈H21.9～H24.8・H22.9～H25.8 改革型〉
- 18 浜坂(沖底): 小型化(90トン→65トン)、省人化〈H21.9～H24.8 改革型〉
- 19 小名浜(大中まき): 船団縮小(2ヶ統8隻→2ヶ統7隻)〈H21.10～H23.11 マイル〉
- 20 北海道機船(釧路)(沖底): 船内1次加工等による高付加価値化〈H22.9～H25.8 改革型〉
- 21 気仙沼(近海まぐろ延縄): 省エネ省コスト、高鮮度保持〈H22.8～H25.8・H22.10～H25.10 改革型〉
- 23 遠洋かつお一本釣り(焼津): 省エネ省コスト、高付加価値化〈H22.9～H24.8 マイル〉
- 24 網代港(沖底): 省エネ、高鮮度保持〈H23.4～H26.3 改革型〉
- 25 遠旋組合②(大中まき): 2船団グループ操業化〈H23.4～H26.3 改革型〉
- 26 五島(中まき): 5船団でトータルコストの削減〈H23.4～H26.3 改革型、H22.6～H24.5 マイル〉
- 27 近海かつお一本釣り(日南・南郷): 小型化(70トン→19トン)〈H23.4～H26.3 改革型〉
- 28 愛媛(真珠養殖): 越物真珠生産〈H22.11～H25.3 改革型〉
- 29 紋別(小底): 省エネ化、衛生管理〈H23.3～H26.2 改革型〉
- 31 北浦(中まき①): 6船団共同操業・共同運搬化〈H23.4～H26.3 改革型、H23.4～H25.3 マイル〉
- 32 賀露(沖底②): 省エネ、船凍出荷〈H23.9～H26.8 改革型〉
- 36 鮭子(沖底②): 小型化(74トン→19トン)、船首ブリッジ導入〈H24.6～H27.5 改革型〉
- 37 遠洋まぐろ延縄(宮古): 省エネ、脱血処理の徹底による高付加価値向上〈H24.5～H27.4 改革型〉
- 40 八戸(小底): コスト削減、鮮度向上〈H27.3 改革型〉[取り下げ]
- 43 遠洋まぐろ延縄(焼津①): 省エネ、流通改善〈H24.4～H26.3 マイル〉
- 44 下関(沖底): 小型化(75トン→69トン)、付加価値向上〈H24.4～H27.3 改革型〉
- 46 深浦(沖底): 省エネ・小型化(50トン→19トン)、衛生管理・付加価値向上等〈H25.9～H28.8 改革型〉
- 47 三重外湾(中まき): 船団縮小(6隻→4隻)、ウォーターバッグによる活魚輸送等〈H25.1～H28.1 改革型〉
- 48 舞鶴(大型定置): 操業体制の再編、省人・省力化、活魚率向上等〈H25.1～H28.1 改革型〉
- 49 網代港(小型定置): 省力化、活魚率・鮮度向上、大目合網の導入等〈H24.4～H27.3 改革型〉
- 50 遠洋まぐろ延縄(尾鷲): 小型化・省エネ、アルコールスラリーアイスの導入〈H24.6～H27.5 改革型〉
- 51 遠洋まぐろ延縄(高知): 既存船の省燃費型への改修、船上加工〈H24.4～H26.3 マイル〉
- 52 浜田(沖底): リンシップ等による省エネ、高鮮度化・活魚販売促進〈H25.4～H27.3 マイル〉
- 53 萩(小型いか釣り): 共同探索・運搬等による操業の効率化〈H24.6～H26.5 マイル〉
- 54 遠洋まぐろ延縄(いわき): 省エネ、漁獲物処理の迅速化〈H25.7～H28.6 改革型〉
- 55 遠洋まぐろ延縄(気仙沼②): 省エネ、EU衛生基準に対応した設備〈H25.7～H28.6 改革型〉
- 56 遠洋まぐろ延縄(気仙沼③): 省エネ型新船導入、高付加価値化〈H25.3～H28.2 改革型〉
- 57 遠洋まぐろ延縄(全体計画): 燃油使用量の削減、漁獲物の品質向上等
- 58 遠洋まぐろ延縄(三崎): 船型の小型化、超深縄漁法の導入〈H25.8～H28.7 改革型〉
- 59 遠洋まぐろ延縄(いちき串木野): 省エネ、次世代型冷凍システムの導入〈H25.9～H28.8 改革型〉
- 60 遠洋まぐろ延縄(伊勢): 省エネ・省コスト型漁船、浅縄操業の導入〈H26.2～H29.1 改革型〉
- 61 遠洋まぐろ延縄(南伊勢): 針数削減等による効率的操業の導入〈H25.4～H27.3 マイル〉
- 62 北海道機船(稚内)(沖底): 省エネ型漁船、活魚脱血処理等による高付加価値化〈H25.10～H28.10 改革型〉
- 63 枕崎(遠洋かつお一本釣り): 鰹節向けブライン鯉生産、燃油費削減〈H25.3～H26.3 マイル〉
- 64 紀伊水道(中まき②): 2艘まきから1艘まきへの転換、船団縮小(9隻→7隻)〈H26.2～H29.2 改革型〉
- 65 北まき・石巻(大中まき/海まき): 単船操業、水揚数量の大幅削減〈H26.4～H29.3 改革型〉
- 66 枕崎(海まき): 合併事業、ブライライン操業、大目網の導入〈H25.3～H27.2 マイル〉
- 67 遠洋まぐろ延縄(焼津②): 冷気自然循環システムの採用、燃油使用量の削減〈H26.3～H29.2 改革型〉
- 68 遠洋まぐろ延縄(気仙沼④): パトックフロー船型、省エネ航行、高品質化〈H26.5～H29.4 改革型〉
- 69 遠洋かつお一本釣り(焼津②): B-1製品の製造、燃油削減〈H25.3～H27.3 マイル〉
- 70 全国遠洋まぐろ(富山): 操業・航海の短縮、燃油削減、付加価値向上〈H26.4～H29.3 改革型〉
- 71 鹿児島魚類養殖(カンパチ養殖): 国産人工種苗、飼料のEP化、作業共同化〈H25.4～H28.8 改革型〉
- 72 鹿児島魚類養殖(ブリ養殖): 国産人工種苗、2年魚出荷、共同作業船〈H25.3～H27.7 改革型〉
- 73 山口外海(小型定置): 新型網の導入、目合い拡大、鮮度保持・出荷調整等〈H25.12～H28.11 改革型〉
- 74 隠岐(中まき): 燃油消費量の削減、適量漁獲と活魚処理等〈改革型〉 [見送り]
- 75 宇和島(中まき・小まき): 船団縮小(5隻→4隻)、生産コストの削減、活魚化率の向上〈H26.4～H29.3 改革型〉
- 76 遠洋まぐろ延縄(焼津②): メパチ・キハダロイン加工、ピンナガドレス加工等〈H25.10～H27.9 マイル〉
- 77 遠洋まぐろ延縄(気仙沼⑤): 主機駆動発電システム、気仙沼全量水揚げ等〈H26.4～H29.3 改革型〉
- 78 佐賀玄海(小型いか釣り): ケンサキイカ活魚化1隻、船凍品製造1隻等〈H26.6～H29.5 改革型〉
- 79 近海まぐろ延縄(高知): 省エネ、高鮮度、漁場変更(中南近海一南方)〈H25.10～H27.9 マイル〉
- 80 遠旋組合③(大中まき): 船団縮小(5隻→4隻)、2層甲板、ブライン凍結〈H26.4～H29.3 改革型〉
- 81 三重外湾(大中まき): 船団縮小(6隻→4.5隻)、活魚、窒素ナノバブル高鮮度化〈H26.5～H29.4 改革型〉
- 82 近海まぐろ延縄(高知②): 省エネ、新型魚倉、深縄、漁場変更〈H28.5～H31.4 改革型〉
- 83 福井(沖底): 省エネ、揚網方法の改善、活魚化〈H25.10～H28.9 改革型〉
- 84 真鶴(大型定置): 網設置位置の適正化、新設計網の導入〈H26.3～H29.2 改革型〉
- 85 遠洋まぐろ延縄(いちき串木野②): 解凍硬直防止技術の確立、地元販売等〈H26.8～H29.7 改革型〉
- 86 下灘(真珠母貝養殖): 真珠母貝品種絞り込み、共同養殖、母貝大型化等〈H26.1～H28.12 改革型〉
- 87 遠洋かつお一本釣り(塩釜・焼津): 共同化、温度帯変更、塩釜基地等〈H25.12～H27.12 マイル〉
- 88 静岡(中まき): ミニ船団化、小型化、活魚生産等〈H26.8～H29.7 改革型〉
- 89 五島(中まき②): 会社統合、ミニ船団化、活魚生産等〈H26.1～H28.1 マイル〉
- 90 近海まぐろ延縄(日南・南郷): 省人、小型化、漁場変更、活餌操業等〈H26.8～H29.7 改革型〉
- 91 海外まき網(海まき): インド洋・太平洋の併用操業、改革型漁船2隻の連携、大型化等〈H27.4～H30.3 改革型〉
- 92 御置瀬(沖底): 小型化、省人化、直まき方式の採用等〈H28.9～R1.8 改革型〉
- 93 竹野(大型定置): 単船揚網体制、箱網の改良、底建網の採用、活魚化等〈H26.5～H29.4 改革型〉
- 94 秋田(大型定置): 流木予防網、大型クラゲ対策網、高価格魚種選択漁獲網の導入等〈H27.3～H30.2 改革型〉
- 95 対馬市(小型いか釣り): 船凍品製造、LED集魚灯等〈H28.8～R1.7 改革型〉

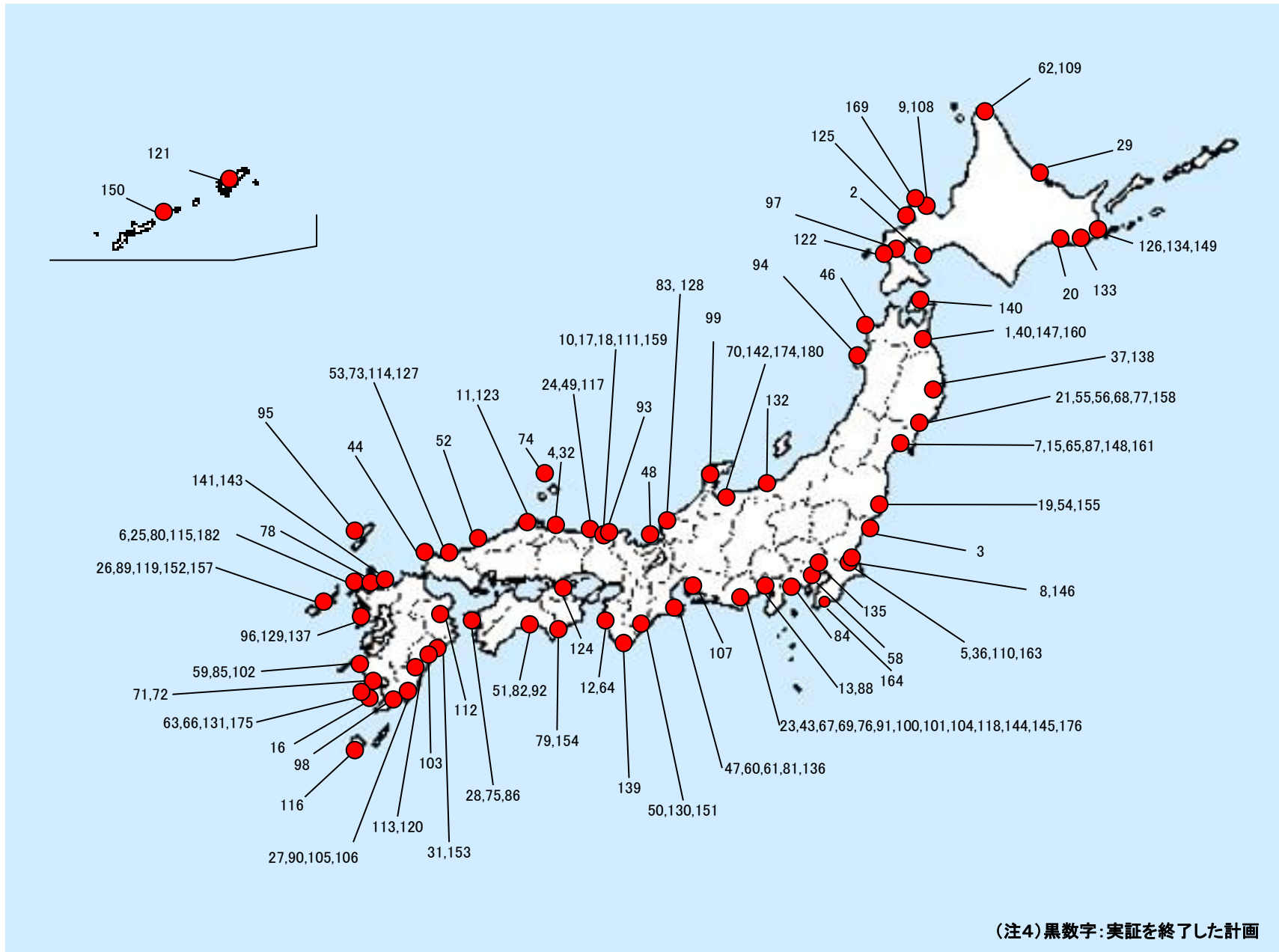
(注4)黒数字:実証を終了した計画

漁業構造改革プロジェクト進捗状況 — 実証事業を終了した計画② (令和5年3月1日現在)

- 96 遠旋組合④(大中まき)：船団縮小(5隻→4隻)、主機関共通化等<H27.4～H30.2改革型>
- 97 八雲町(ホタテガイ養殖)：3年貝主体の生産構造への移行、養殖作業の共同化等<H26.12～H31.2改革型>
- 98 鹿儿島大置(大型定置)：網の保守管理作業の軽減、漁獲物の販売方法の改善等<H27.8～H30.7改革型>
- 99 能都(大型定置)：1ヶ統一合理的2ヶ統操業、改革型金庫網、柔軟な出荷戦略等<H27.9～H30.9改革型>
- 100 遠洋かつお一本釣り(焼津・御前崎)：599トン船での省コスト操業等<H27.10 改革型>〔取り下げ〕
- 101 遠洋まぐろ延縄(焼津③)：代替冷媒導入、冷凍機の稼働台数適正化等<H27.3～H29.2 マイルド>
- 102 串木野(遠洋まぐろ延縄)：経営体統合、既存船の大規模リニューアル<H27.9～H30.8 改革型、H27.9～H29.9 マイルド>
- 103 延岡(大型定置)：両落とし式定置網導入、活魚出荷等販路拡大<H27.10～H30.9改革型>
- 104 小川(さば棒受網)：まき餌コスト削減、99トン型鋼船の導入、活魚・活メ処理等<H28.3～H31.2 改革型>
- 105 近海かつお一本釣り(日南・南郷②)：操業海域変更、海水氷製造機の搭載等<H27.7～H30.6 改革型>
- 106 近海かつお一本釣り(日南・南郷③)：操業海域変更、低温活餌装置の搭載等<H28.2～H31.1 改革型>
- 107 蒲郡(沖底)：操業体制の見直しによる省人化、アカザエビ活魚化等<H27.9～H30.8 改革型>
- 108 北海道機船(小樽②)(沖底)：LLPIによる効率的な操業、省人化、漁具共有化等<H27.4～H30.3 多角化>
- 109 北海道機船(稚内②)(沖底)：操業対策委員会による操業、箱詰めの割合向上等<H27.4～H30.3 多角化>
- 110 鮭子(沖底③)：ハイブリッド型漁船での操業、殺菌水生成長装置導入等<H28.9～R1.8改革型>
- 111 香住(沖底)：巻き返しによる漁具費削減、船上冷凍設備の導入等<H27.9～H30.8 改革型>
- 112 大分県(中まき)：フィッシュポンプの網船への搭載、小型魚の蓄養等<H27.11～H30.11改革型>
- 113 川南(沿岸まぐろ延縄)：新たな経営体の確保、漁船の小量化等<H28.4～H31.3 改革型(沿岸漁業版)>
- 114 山口外海(パイ籠)：パイ籠専業船の導入による船上作業の効率化等<H28.7～R1.6 改革型>
- 115 遠旋組合⑤(大中まき)：改革型漁船導入による船団縮小(5隻→4隻)等<H28.5～H31.4 改革型>
- 116 屋久島(瀬物一本釣り)：操業協業化による効率化等<H28.6～R1.5 改革型(沿岸漁業版)>
- 117 網代港(沖底②)：船上加工による6次産業化<H28.9～R1.8改革型>
- 118 遠洋かつお一本釣り(焼津・御前崎)：599トン改革型漁船での省コスト操業、活メ脱血製造等<H27.12～H30.11 改革型>
- 119 五島定置(大型・小型)：仕切網による操業効率の向上と魚価向上<H28.4～H31.3 改革型>
- 120 近海まぐろ延縄(日向)：メカジキトラップによる対象魚種の多様化、操業海域変更<H28.4～H31.3 改革型>
- 121 名瀬沿岸かつお一本釣り：船団縮小、省エネ漁船導入によるコスト削減等<H28.8～R1.7 改革型>
- 122 ひやま(小型いか釣り)：新型漁撈機器の導入、高鮮度出荷、いか釣り専業化等<H28.5～R1.9 多角化>
- 123 境港②(べにずわいがに)：冷蔵機能魚倉、冷却水槽による高鮮度化、規格化等<H29.4～R2.3 改革型>
- 124 香川(海面ニジマス養殖)：ブリ養殖休漁期を活用したニジマス養殖、ブランド化等<H28.1～H30.5 改革型>
- 125 古宇郡(ホタテガイ養殖)：養殖施設を9基→33基に増設し生産体制の強化、販路拡大等<H28.6～R1.6 多角化>
- 126 根室湾中部(小型いか釣り)：1人乗り操業による高品質品生産、LED集魚灯導入等<H28.8～R1.7 改革型>
- 127 山口外海(大型定置)：未利用漁場活用による生産力向上、村張りから法人化による経営体制強化等<H28.11～R1.10 改革型>
- 128 福井(大型定置)：出荷・販売ルートの開発による収益性向上等<H29.3～R2.2 改革型>
- 129 遠旋組合⑥(大中まき)：活魚輸送・畜養いけすによる漁獲物の有効利用、船団縮小(5隻→4隻)等<H29.1～R2.1 改革型>
- 130 遠洋かつお一本釣り(尾鷲)：499トン改革型漁船での省コスト操業、活餌イワシ生存率向上等<H29.3～R2.2 改革型>
- 131 枕崎(遠洋かつお一本釣り)：冷海水によるブライン鯉の安定供給、省エネ船型導入等<H29.3～R2.3 改革型>
- 132 上越(小底)：2人体制のニギスに特化した操業モデル確立、僚船との協業化、選別機導入等<H29.4～R2.3 改革型(沿岸漁業版)>
- 133 厚岸(さば・いわし棒受網)：漁場探索の協業化、自動まき餌機導入による省人化等<H28.5～H30.7 多角化>
- 134 根室(さば・いわし棒受網)：漁場探索の協業化、自動まき餌機導入による省人化等<H28.5～H30.7 多角化>
- 135 全国さんま棒受網(公海さんま棒受網)：船上凍結製品の生産、ロシア加工船への洋上売魚等<H28.5～H30.7 多角化、H28.5～H29.7 マイルド>
- 136 三重県真珠養殖(真珠養殖)：低塩分養成技術の導入、作業船の共同化等<H28.6～H31.3 改革型>
- 137 長崎以西底曳(以西底びき網)：新型網導入による省エネ、キダイの販路拡大等<H28.10～H30.9 マイルド>
- 138 宮古・釜石(沖底)：省エネ型漁船の導入、トロールセンサーシステム導入等による省コスト化<H30.2～R3.1 改革型>
- 139 太地町(大型定置)：省エネ・省力型漁労機器搭載の改革型漁船の導入等による省コスト化<H29.10～R2.10 改革型>
- 140 青森県大畑(小型定置)：改良型網の導入、省エネ型漁船の導入等による生産性の向上<H28.11～R1.10 改革型>
- 141 遠旋組合⑦(大中まき)：改革型運搬船による養殖用種苗の洋上販売、船団縮小(5隻→4隻)等<H29.9～R2.9改革型>
- 142 とやま市(大型定置)：改革型マント網の導入、ホタルイカの高付加価値化、旧網利用による操業期間延長<H28.12～R1.12 改革型>
- 143 遠旋組合⑧(大中まき)：改革型運搬船の導入、フィッシュポンプの活用、氷使用量の削減、船団縮小等(9隻→8隻)<H29.9～R2.8 改革型>
- 144 海外まき網(海まき②)：VDの高度利用、共同運搬船の活用<H28.10～H29.9 マイルド>
- 145 遠洋かつお一本釣り(焼津③)：S-1カツオの増産、499トン型基本船型の開発・導入<H29.12～R2.12 改革型>
- 146 神栖市沿岸漁業(小底)：改革型漁船の導入、消費地市場への自家出荷等<H29.3～R2.3 改革型(沿岸漁業版)>
- 147 遠洋まぐろ延縄(八戸)：ブーム式荷役装置を搭載した改革型漁船の導入、転載による効率化等<H30.7～R3.6 改革型>
- 148 遠洋かつお一本釣り(塩釜)：改革型漁船の導入、新製品の生産、タスマン漁場の再開発等<H30.3～R3.2 改革型>
- 149 全国さんま棒受網(落石)：省エネ・省コスト型漁船の導入、フィッシュポンプによる省人化等<H29.9～R2.9 改革型>
- 150 与論(ソデイカ旗流し)：改革型漁船の導入、ソデイカ下足の高鮮度出荷、ブランド化等<H29.9～R2.8 改革型>
- 151 尾鷲(大型定置)：改革型漁船及び改革型漁網の導入、一艘起こしへの操業転換及び網交換作業の効率化等<H29.10～R2.10改革型>
- 152 遠旋組合⑨(大中まき)：改革型漁船の導入、船団縮小(5隻→4隻)、運搬船の共同利用等<H30.4～R3.3 改革型>
- 153 北浦(中まき②)：改革型網船の導入、船団縮小(5隻→4隻)、網船冷海水魚艙による鮮度保持等<H30.4～R3.3 改革型>
- 154 野根(大型定置)：改革型漁船及び改革型漁網の導入、周年操業化による生産性向上等<H30.2～R3.1 改革型>
- 155 いわき(遠洋まぐろ延縄)：経営体統合、大型改革船及び省エネ型改革船の導入による船団操業の効率化等<H31.4～R4.5 改革型>
- 157 遠旋組合⑩(大中まき)：ミニ船団化(5隻→3隻)、スラリーアイスと冷海水の併用による鮮度保持等<H31.4～R4.4 改革型>
- 158 遠洋まぐろ延縄(気仙沼⑦)：改革型漁船の導入による省エネ運航、縦型コンベアの設置による餌料作業の大幅な省力化等<R1.7～R4.6 改革型>
- 159 浜坂(沖底②)：改革型沖底・いか釣り兼業船の導入、船上凍結による漁獲物の高品質化等<H30.9～R3.9 改革型>
- 160 青森県八戸(大型定置)：改革型漁船及び改革型漁網の導入、季節網の採用による安定生産体制の確立等<H30.10～R3.9 改革型>
- 161 北まき・石巻②(大中まき)：改革型運搬船の導入による漁獲物の高鮮度化、石巻への水揚げの増加等<H31.4～R4.3 改革型>
- 163 北まき・鮭子(大中まき)：改革型網船の導入、船団縮小(3隻→2隻)、魚艙内温度管理システムによる鮮度保持等<R1.6～R4.5 改革型>
- 164 千葉県東安房(大型定置)：改革型漁船の導入による船団縮小(6隻→4隻)、改革型漁網による周年操業化等<H31.4～R4.3 改革型>
- 169 積丹(大型定置)：改革型漁船及び改革型漁網の導入、ブリの付加価値向上等<R1.9～R4.8 改革型>
- 174 全国遠洋まぐろ(富山②)：省エネ機器の導入、長期航海の見直し、省力化機器の導入< R2.2～R4.1 マイルド>
- 175 枕崎・気仙沼(遠洋かつお一本釣り)：燃油使用量10%削減、4隻の分散水揚、ブライン増産による収益向上等< R2.4～R4.4 マイルド>
- 176 遠洋かつお一本釣り：燃油使用量10%削減、AI漁場予測、ピンナガ・カツオ製品のMEL取得、海外市場開拓等< R2.5～R4.5 マイルド>
- 180 全国遠洋まぐろ(富山③)：マグロ・サンマ兼業による周年稼働、豪州への入港等による燃油消費量削減、超低温冷凍サンマ販売等<R2.8～ R4.8 マイルド>
- 182 遠旋組合(大中まき)：操業コストの削減、魚艙に温度管理システム導入し魚価向上等<R2.12～ R4.11 マイルド>

(注4)黒数字：実証を終了した計画

実証事業終了 168件 (がんばる漁業への移行11件含む)



実証事業終了 168件 (がんばる漁業への移行11件含む)